

岩手県感染症週報

平成26年第10週(3月3日～3月9日)

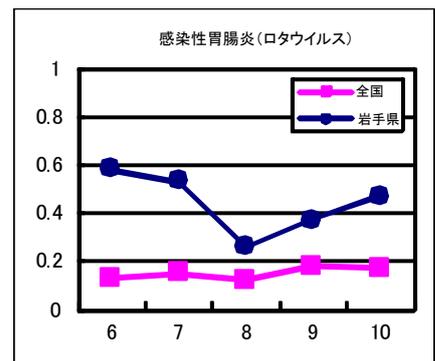
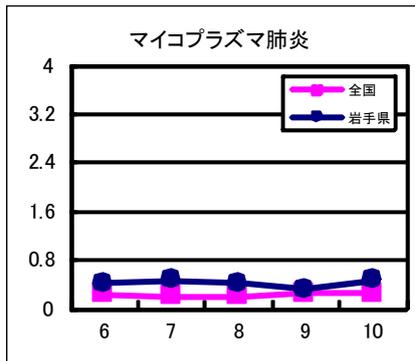
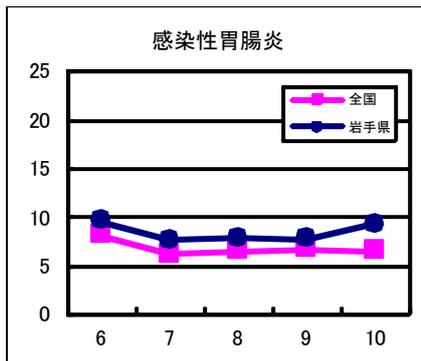
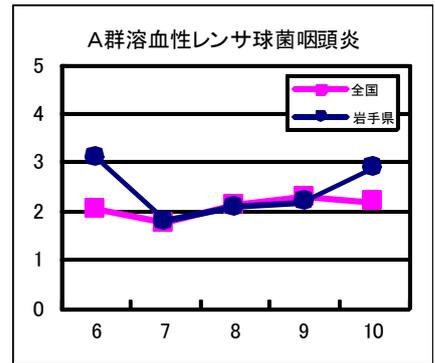
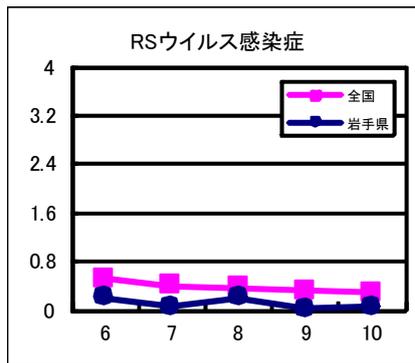
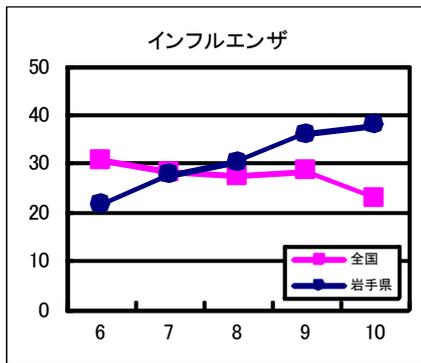
岩手県感染症情報センター

第10週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の患者の報告が4例あり、2例が潜在性結核患者です。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・患者発生の報告はありませんでした。
 - ・麻しん・風しんの定期予防接種は、1歳児と、小学校入学前の1年間の2回接種となっています。特に小学校入学前で未接種の方は年度内の接種が勧められます。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・インフルエンザは、県全体で3週連続して警報値(定点あたり患者数30人)を超えました。地区別では盛岡市、県央、中部および宮古地区で警報値を超えています。これまでに県環境保健研究センターで実施したウイルス検査では、A(H1N1)2009、A香港型、B型が検出されています。インフルエンザを疑う症状がある場合は、早めに医療機関を受診するとともに、周囲へ感染を拡げないようにマスクの着用等の咳エチケットが勧められます。また、予防には人混みへの外出をなるべく控える、手洗いの徹底が重要です。
 - ・感染性胃腸炎は、前週より増加しました。中部、奥州、一関および釜石地区で定点あたり患者数が10人を超えています。保育園、幼稚園および小学校でノロウイルスによる集団感染事例が発生しております。集団生活の場では、石けんと流水を用いた手洗い等の感染予防対策が重要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		6	7	8	9	10		
インフルエンザ	岩手県	21.36	27.56	30.17	35.98	37.86	↗	☆☆☆
	全国	30.72	28.18	27.36	28.44	22.93		
RSウイルス感染症	岩手県	0.2	0.05	0.2	0.03	0.05	→	
	全国	0.51	0.4	0.37	0.32	0.28		
咽頭結膜熱	岩手県	0.25	0.1	0.35	0.35	0.28	→	☆
	全国	0.41	0.36	0.35	0.37	0.34		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	3.1	1.8	2.08	2.18	2.88	→	☆
	全国	2.04	1.75	2.13	2.29	2.19		
感染性胃腸炎	岩手県	9.6	7.68	7.9	7.78	9.3	↗	☆
	全国	8.18	6.22	6.5	6.78	6.52		
水痘	岩手県	1.75	1.13	1.05	1.5	1.15	→	☆
	全国	1.15	1.06	1.11	1	1.03		
手足口病	岩手県	0	0	0	0.03	0	→	
	全国	0.11	0.09	0.07	0.09	0.08		
伝染性紅斑	岩手県	0.3	0.08	0.13	0.2	0.23	→	☆
	全国	0.08	0.08	0.1	0.12	0.11		
突発性発疹	岩手県	0.33	0.48	0.3	0.2	0.35	→	☆
	全国	0.41	0.36	0.41	0.43	0.43		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.28	0.2	0.25	0.18	0.23	→	☆
	全国	0.2	0.2	0.23	0.22	0.24		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.29	0.21	0.36	0.21	0.21	→	☆
	全国	0.56	0.54	0.51	0.45	0.44		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0	0	0.05	0	→	
	全国	0.04	0.03	0.02	0.02	0.02		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.42	0.47	0.42	0.32	0.47	→	☆
	全国	0.23	0.2	0.21	0.26	0.26		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0.05	→	
	全国	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.58	0.53	0.26	0.37	0.47	→	☆
	全国	0.13	0.15	0.12	0.18	0.17		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	43	41	37	38	47		
	全国	929	800	752	857	615		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) が
2013年10週より対象疾患になりました。 (患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					全国		
		6	7	8	9	10	累計	10	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	5 (5)	9 (3)	7 (2)	2 (1)	4 (2)	50 (23)	367	3821
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	1	3	16
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	1	5	62
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	2	9
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	1
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	25
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	48	165
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	2
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	1
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	1	3
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	26
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	18
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	3
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	1	3
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
	ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	1	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	9
	野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
	リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	0	0	1	0	0	3	14	187
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	3
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症が第14週より、鳥インフルエンザ (H7N9) が第19週より届出対象疾患となりました。

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 6	7	8	9	10	累計	10	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	0	10	167
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	0	2	42
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	1	8	111
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	5
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	0	0	1	2	25
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	1	0	0	1	4	47
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	23	240
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	3	35
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	11
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	1	1	0	0	3	20	367
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	7
	梅毒	0	0	0	0	0	1	14	239
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	14
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	8
風しん	0	0	0	0	0	0	6	94	
麻しん	0	0	0	0	0	0	23	172	
指定	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0

今注目の感染症

麻しん

麻しんは、麻しんウイルスによって起こる感染症で、人から人へ感染します。感染経路としては、空気（飛沫核）感染のほか、飛沫や接触感染など様々な経路があります。感染力はきわめて強く、麻しんの免疫のない集団に1人の発症者がいたとすると、12～14人が感染するとされています。（インフルエンザでは1～2人）

潜伏期は10～12日間です。全身の発疹、38.5℃以上の発熱、カタル症状（咳そう、鼻汁、結膜充血など）が報告の基準となっています。

わが国では、2012年までに麻しん排除を国の目的に掲げ、2007～2008年頃の10代を中心とする患者発生の状況から約97%の減少を達成しました。次は2015年の麻しん排除認定の取得を目標としています。

2013年末から2014年初頭にかけて、輸入例の報告が増えています。2013年第48週から2014年第週に診断された麻しんは139例で、前年の同時期は48例でしたので2.9倍でした。そのうち、海外からの輸入麻しんが47例（34%）あり、特にフィリピンでの感染が疑われる症例は47例中38例と増加しています。

岩手県の発生状況ですが、全数報告となった2008年以降6年間で22名の報告がありました。2012年第11週以降、患者報告はありません。

麻しんは年齢にかかわらず命にかかわる重篤な感染症です。また、特異的な治療法はないものの、予防接種で予防可能な感染症です。定期予防接種は、1歳児（第1期）と小学入学前1年間（第2期）となっています。

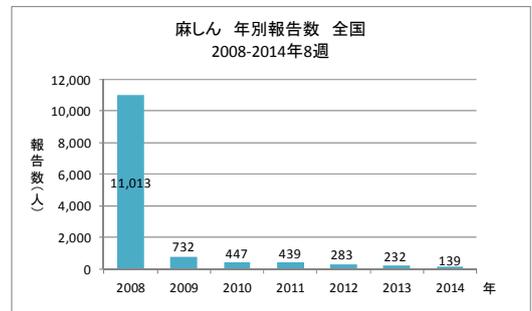
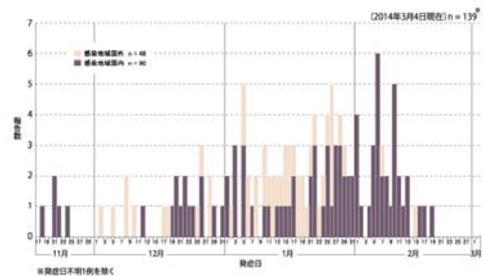
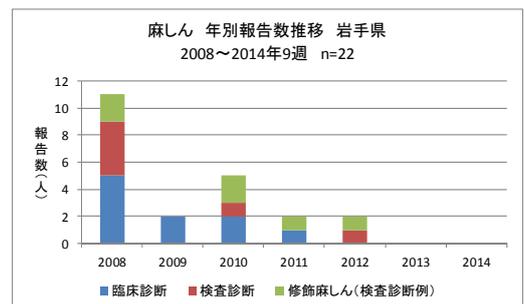


図. 麻しんの感染地域別・発症日別報告数(2013年11月17日～2014年3月2日)



国立感染症疫学センター



今注目の感染症 (つづき)

インフルエンザ

インフルエンザは、平成26年第8週には定点あたり患者数が30.17人と、警報値(定点あたり患者数30人)を超え流行警報が発令されました。第9週は35.98人、第10週は37.86人と増加し、流行が拡大しています。

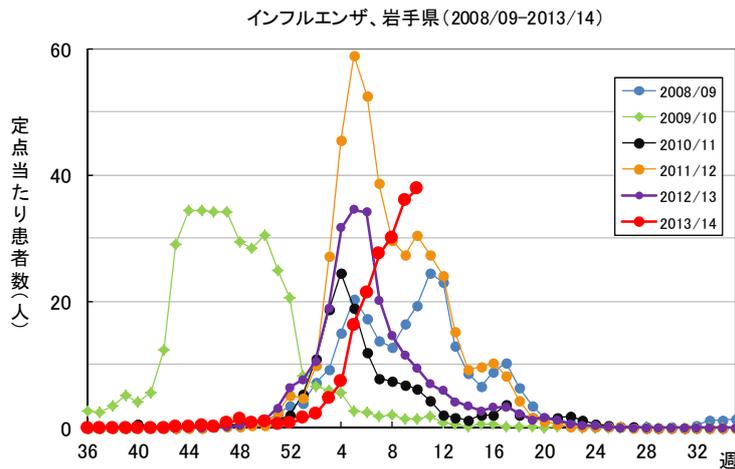
インフルエンザの症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。症状がでた場合や、「かかったかな?」と感じた場合には、人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場に行かないようにしましょう。また、早めに医療機関を受診しましょう。

咳やくしゃみが出る場合は、咳エチケット(咳やくしゃみを他の人に向けて発しない、咳が出るときはマスクをする、手のひらで咳やくしゃみを受けた時はすぐに手を洗うなど)などで、周りへ配慮しましょう。

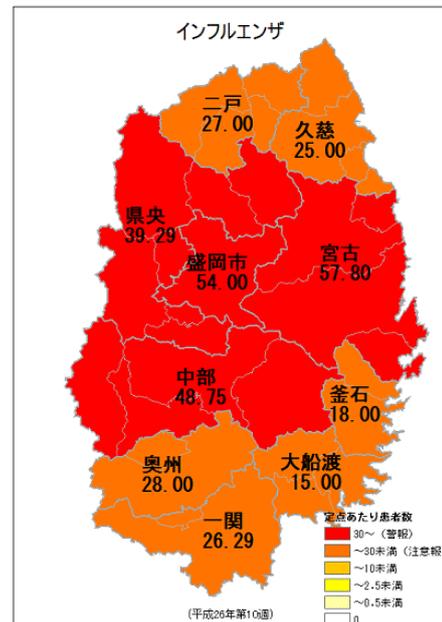
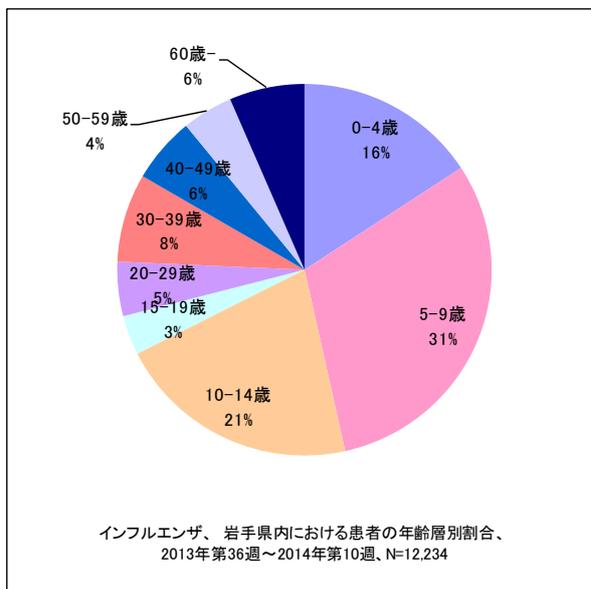
予防には、なるべく人混みを避ける(特に妊婦さんや基礎疾患のある方等)、帰宅時の手洗い、十分な休養と栄養をとることなどが重要です。

県環境保健研究センターで実施しているウイルス検査では、A香港型およびA/H1N1(2009)、B型が検出されています。

厚生労働省インフルエンザQ&A <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>



報告週の対応表はこちら→ <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>



今注目の感染症 (つづき)

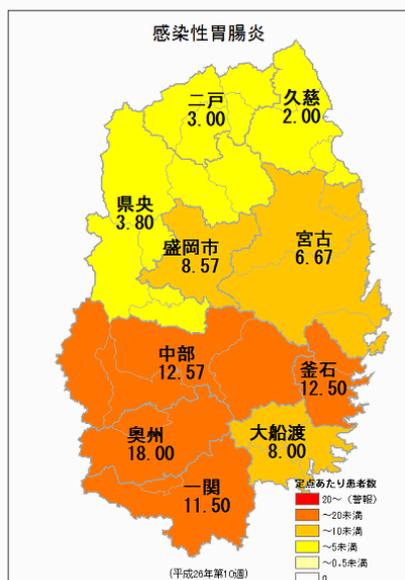
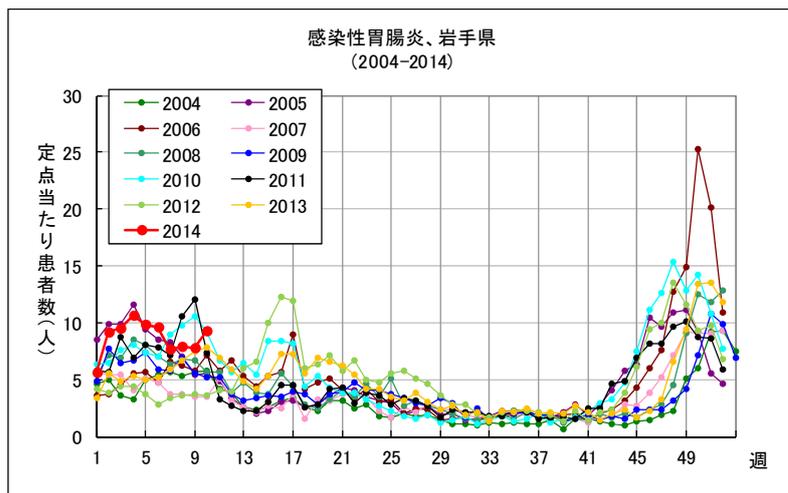
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年の流行では患者からは、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが多く検出されています。

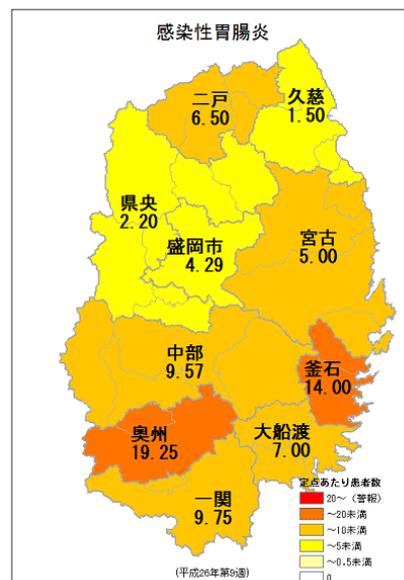
感染性胃腸炎の報告数は、例年、10月頃から増加し12月にピークを迎えますが、今シーズンは今年に入ってからも、例年に比較して多い状況が続いています。また、今年これまでに、ノロウイルスやアストロウイルスによる集団感染事例が、保育園や老人福祉施設などで35例発生しています。全国ではノロウイルスによる大規模な食中毒事例も発生しています。

ノロウイルスの感染経路は、経口感染が主な感染経路です、感染力が強いため、保育園や老人福祉施設などの集団生活の場では注意が必要です。予防には、石けんと流水を用いた手洗いと、患者の汚物の適切な処理が重要です。ノロウイルスの汚染の恐れのある二枚貝などの食品は85℃以上で1分間以上の加熱をしましょう。

厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A <http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>



第10週



第9週

病原体検出情報

- ・感染性胃腸炎の患者の糞便から、ノロウイルス遺伝子群IIを1件、アデノウイルス1型を1件それぞれ検出しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、エコーウイルス18型を1件、アデノウイルス1型を1件、アデノウイルス2型を1件、ヒトメタニューモウイルス1件をそれぞれ検出しました。
- ・下気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、アデノウイルス1型を1件、アデノウイルス2型を1件、それぞれ検出しました。
- ・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、A H1pdmインフルエンザウイルスを13件、A香港型インフルエンザウイルスを5件、B型インフルエンザウイルスを10件それぞれ検出しました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

- ・金ヶ崎町内の幼稚園
2月27日(木)から3月6日(木)にかけて38名(園児36名、職員2名)に症状(嘔吐、下痢等)有症者3名(園児3名)からノロウイルスを確認
- ・金ヶ崎町内の小学校
3月3日(月)から3月7日(金)にかけて、児童64名に症状(嘔吐、下痢等)有症者1名(児童1名)からノロウイルスを確認
- ・盛岡市内の小学校(児童数50名、職員数12名)
2月20日(木)から3月6日(木)にかけて児童13名に症状(嘔吐、下痢、複数、発熱等)有症者4名(児童4名)からノロウイルスを確認
- ・紫波町内の小学校(児童数413名、職員数25)
3月3日(月)から3月11日(火)にかけて児童48名に症状(嘔吐、下痢等)有症者3名(児童3名)からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について(3月6日～3月12日発表分)

- ・岩手県 32件
- ・盛岡市 17件

詳細は、岩手県医療政策室のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/iryō/kenko/Influ/015642.html>

医療機関からの情報

- ・「溶連菌感染症とインフルエンザの合併例時々あり」との情報がありました。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

岩手県感染症情報センター(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

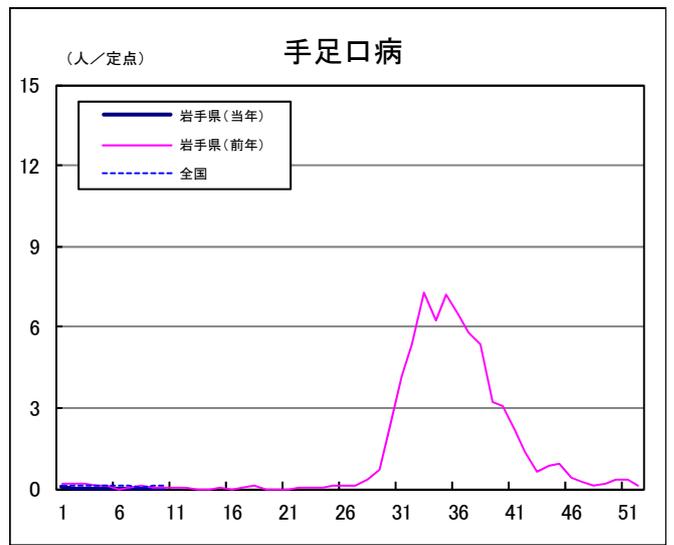
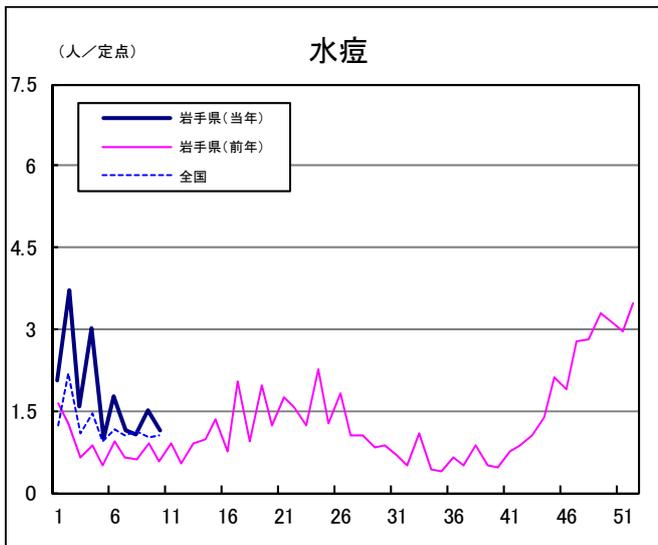
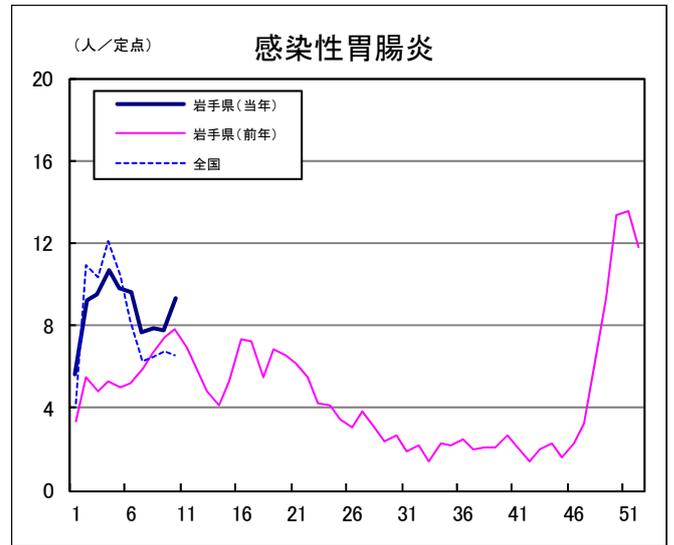
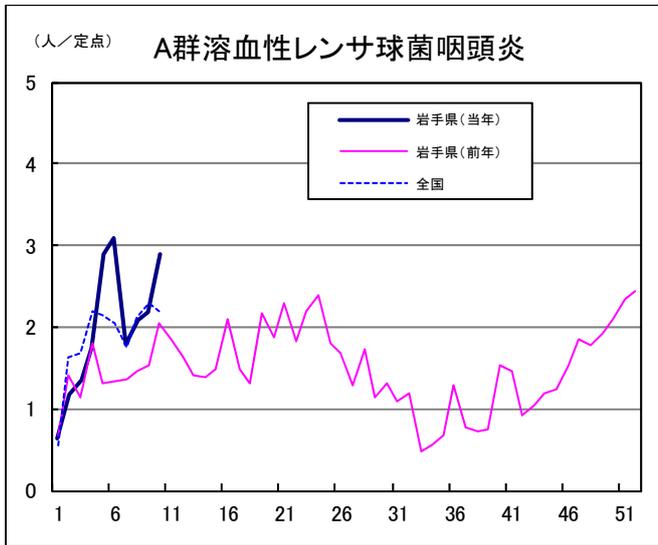
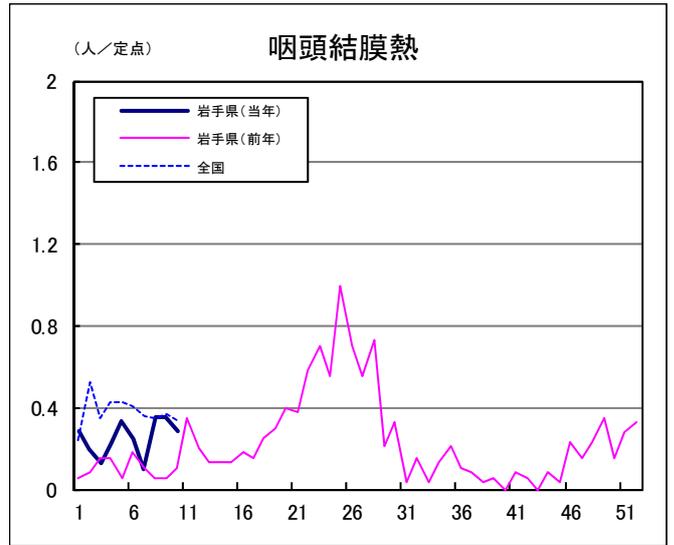
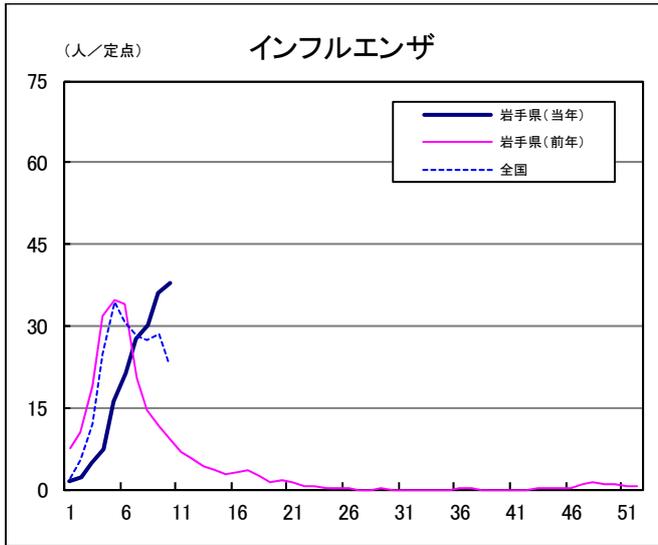
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

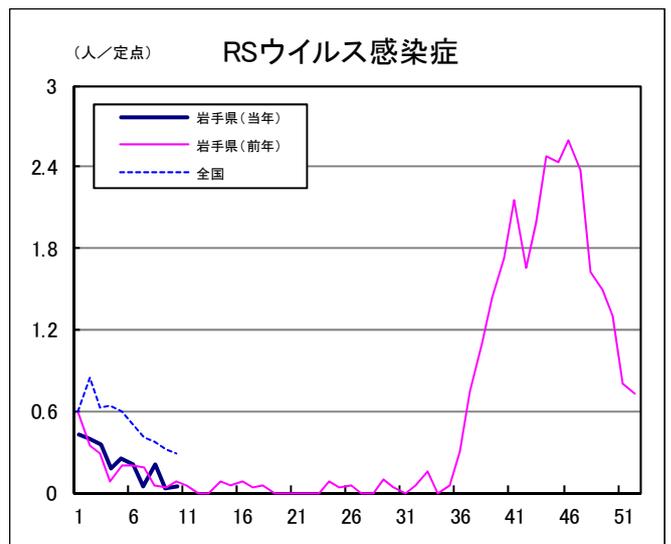
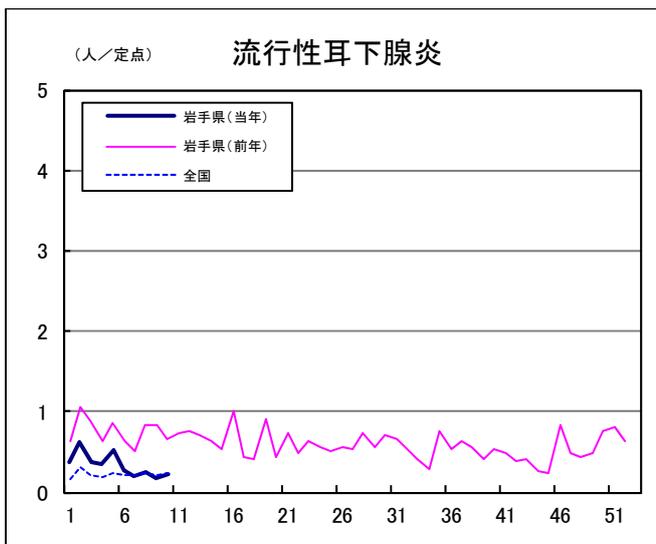
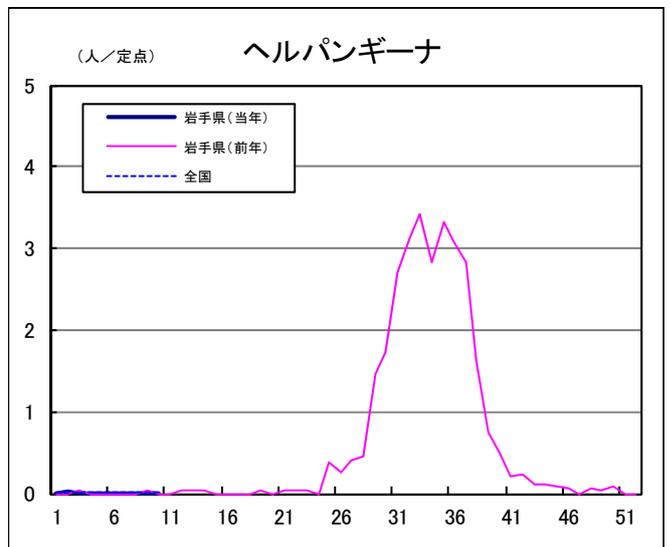
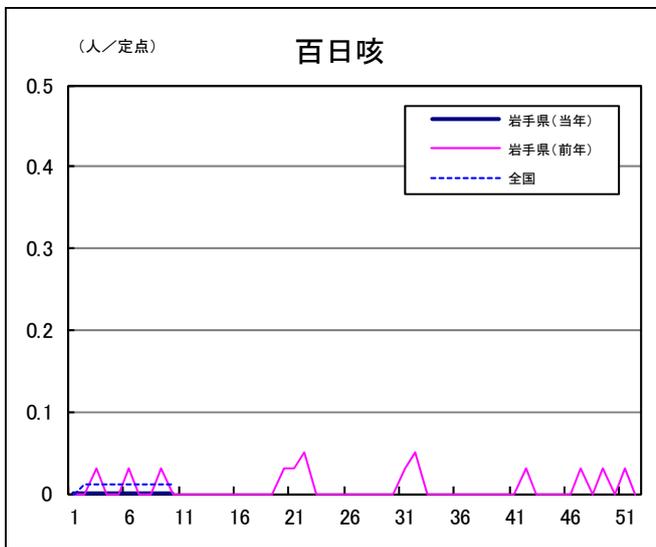
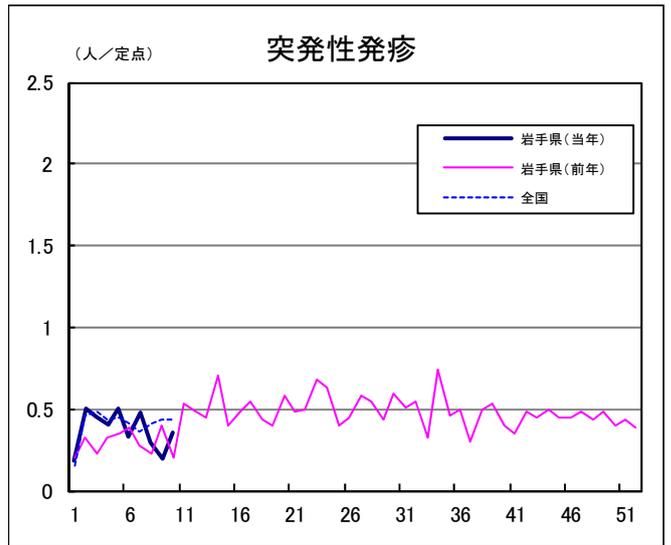
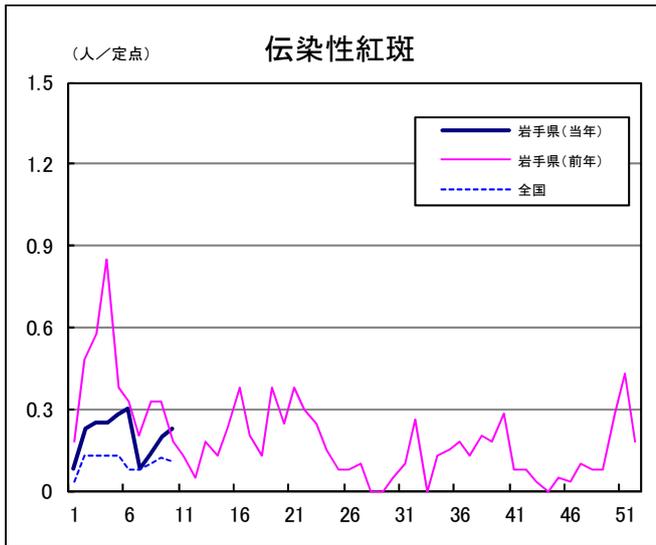
(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

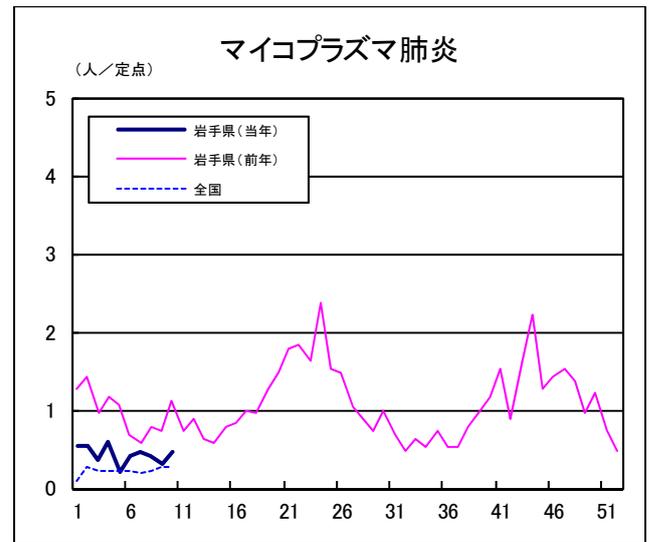
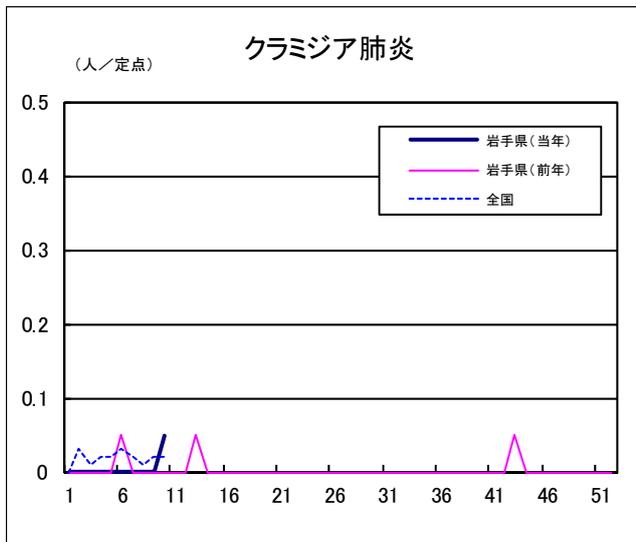
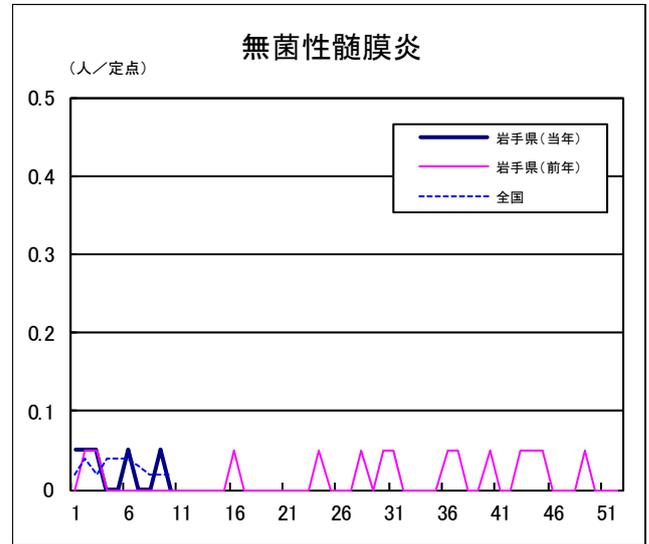
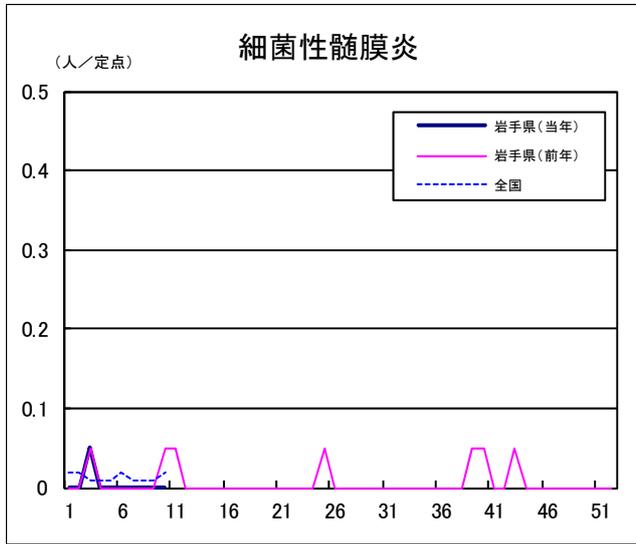
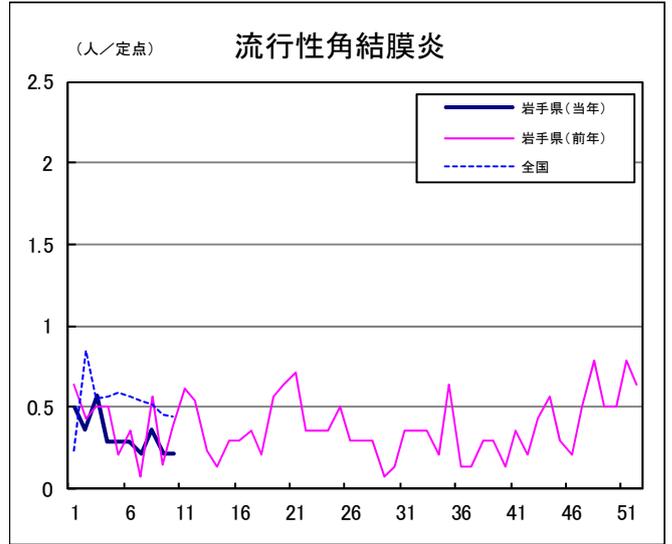
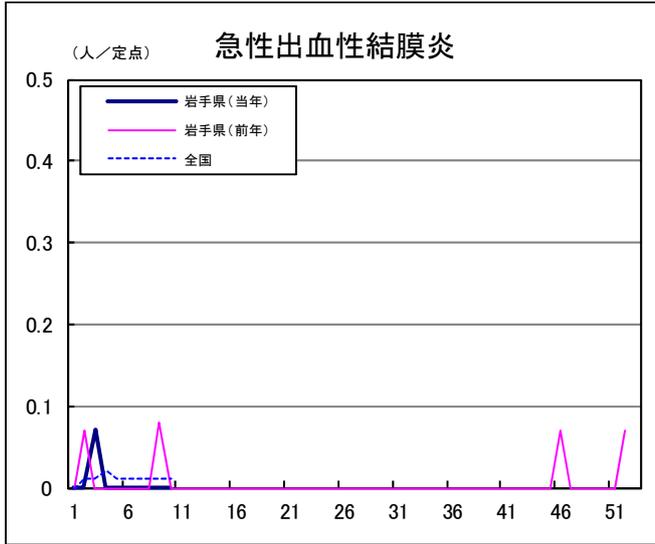
TEL:019-656-5669(直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	64	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	7	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成26年第10週 平成26年3月14日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

(平成24年2月20日より住居表示が変更となりました。)

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/info.rbz?nd=345&ik=3&pnp=17&pnp=60&pnp=345>

<岩手県保健福祉部医療政策室>